

2026年度 卒業生・就業先アンケート分析結果

1. 調査の目的

DPルーブリックに掲げる能力について、卒業後の重要性、TCUで学んだ能力の有用性、就業先からみた卒業生の発揮状況を把握し、教育活動の改善に活用するために実施した。

2. 回答状況

調査	回答数
卒業生アンケート	6件
就業先アンケート	5件

3. DPルーブリックが掲げる能力の回答状況

肯定回答数／有効回答数を表示

能力	卒業生 重要性	卒業生 有用性	就業先 重要性	就業先 発揮状況	結果
福音主義理解	3/6	4/6	2/4	3/4	重要性は半数程度／有用性・発揮は高め
聖書が信仰と生活の唯一の基準	4/6	5/6	4/4	4/4	重要性・有用性・発揮とも高い
超教派理解	3/6	4/6	2/4	3/4	重要性は半数程度／有用性・発揮は高め
超教派における協働力	4/6	4/6	4/4	3/4	重要性・有用性・発揮とも高い
神学の知識	3/6	3/6	3/4	2/4	重要性・成果とも回答が分かれる
論理的思考力	5/6	2/6	4/5	3/5	重要性は高い／卒業生の有用性は2/6
幅広い教養	5/6	3/6	4/5	4/5	重要性は高い／就業先の発揮は4/5
異文化理解力	5/6	4/6	4/5	3/5	重要性・有用性・発揮とも高い
協働力	5/6	4/6	5/5	3/5	重要性・有用性・発揮とも高い
問題解決力	5/6	3/6	5/5	4/5	重要性は高い／就業先の発揮は4/5
情熱	4/6	3/6	5/5	3/5	重要性は高い／有用性・発揮は半数程度

4. 重要性と教育成果の組み合わせ

「高」＝肯定回答が有効回答の半数を超えた項目。「低」＝半数以下の項目。色分けは4つの組み合わせを示す。

卒業生の回答（重要性 × TCUで学んだ能力の有用性）

重要性高×有用性高	重要性低×有用性高
聖書が信仰と生活の唯一の基準 超教派における協働力 異文化理解力 協働力	福音主義理解 超教派理解
重要性高×有用性低	重要性低×有用性低
論理的思考力 幅広い教養 問題解決力 情熱	神学の知識

就業先の回答（重要性 × 卒業生の発揮状況）

重要性高×発揮高	重要性低×発揮高
聖書が信仰と生活の唯一の基準 超教派における協働力 論理的思考力 幅広い教養 異文化理解力 協働力 問題解決力 情熱	福音主義理解 超教派理解
重要性高×発揮低	重要性低×発揮低
神学の知識	該当なし

5. TCUで役立った経験（卒業生回答）

経験	選択件数
授業（講義）	4
教会実習	4
委員会・サークル等の課外活動	3
寮生活	2
担任・教員との関わり	2
友人・他の学生との関わり	2

6. まとめ

テーマ	まとめ
協働・対人関係・異文化理解	協働力、異文化理解力は、卒業生・就業先の双方で重要性・成果が高い。自由記述でも、前向きさ、温かな関わり、語学を用いたコミュニケーション、誠実さなどが強みとして挙げられた。
実践・キャリアとの接続	論理的思考力、幅広い教養、問題解決力、情熱は重要性が高い一方、卒業生の有用性評価は就業先の発揮評価より低い。自由記述では、インターンシップ、一般就職を意識した学び、資格取得や現場経験への要望がみられた。
神学・宗教領域の学び	「聖書を信仰と生活における唯一の基準とする」力は、双方で重要性・成果が高い。神学の知識は、卒業生より就業先で重要性が高く評価された一方、就業先による発揮状況の評価は分かれた。自由記述では、キリスト教史・他宗教・現代的な神学議論に関する学びへの要望がみられた。
学びを支えた経験	卒業後に役立った経験として、授業（講義）4件、教会実習4件、課外活動3件が多く挙げられた。正課と正課外の双方の経験が能力形成を支えていることがうかがえる。